私たちの暮らしや産業活動のうえで、エネルギーは必要不可欠なものであり、その消費量は年々増加しております。特に、毎日の生活における利便性、快適性、豊かさを追求するライフスタイルの浸透等により家庭でのエネルギー消費が増加しております。

エネルギーの多くは石油等の化石燃料に依存しておりますが、化石燃料は資源として限りがあります。二度の石油危機を通じ、化石燃料の動向が生活や産業にも直接影響することを私たちは体験してきました。

また、化石燃料の使用等により発生する二酸化炭素などの温室効果ガスによって地球規模での温暖化が懸念され、その対策が必要とされています。

こうした中、限りあるエネルギー資源の枯渇や温暖化の進行を放置するのではなく、再生可能なエネルギー、リサイクルエネルギーおよびエネルギーの新しい利用形態など新エネルギーの活用により、エネルギーの多様化と安定的な供給を確保するとともに、エネルギー消費量の今後の伸びを抑制することが重要な課題となっております。

このため、エネルギー供給面での新エネルギー導入と需要面での省エネルギーを両輪として具体的に推進するとともに、地域レベルや個人レベルにおいて、県民、事業者、地方公共団体が一体となった取組みを展開するため、県としてその方向性や施策を示す「福井県新エネルギー・省エネルギービジョン」を策定しました。

本県は、二酸化炭素を排出しない原子力発電により、県内で発電した電力の大半を関西圏へ移出し、人々の生活や産業を支えているとともに、地球温暖化防止に大きく貢献しています。

さらに、環境負荷の少ないエネルギーとしての新エネルギーの導入や省エネルギー推進を図ることにより、地球環境保全に向けたエネルギー先進県として、県は率先してさまざまな施策に積極的に取り組んでまいります。かけがえのない地球環境を守り、２１世紀の本県の将来を明るいものにするため、県民、事業者、市町村におかれても、それぞれの立場でそれぞれの役割を果たしていただきたいと考えております。

終わりに、このビジョンの策定に当たり、ご指導、ご協力をいただきました福井県新エネルギー・省エネルギービジョン策定懇話会の委員の皆様に心からお礼申し上げます。

平成１２年３月

福井県知事　栗田幸雄